

目的と手段

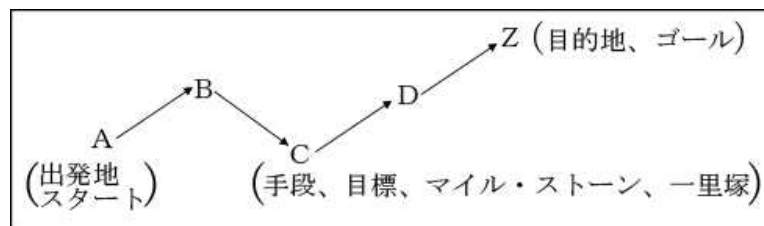
—到達すべき最終地点(ゴール・目的)をはっきりと決め、
そのためにどうしたらよいか(手段)を具体的に考えよう—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q : 目的と手段とは違うのですか。

A : (1) はい。「目的」とは、出発点からスタートして、到達すべき最終地点、ゴールのことです。
(2) 「手段」とは、目的を達成するためにやらなければならないこと、必ず通らなければならないいくつかのマイル・ストーン、一里塚のようなものです。「目標」と言い換えても OK です。
(3) A 地点から出発して Z 地点という目的地に到達するために、途中で通過しなければならない B 地点、C 地点、D 地点があるとしたら、A 地点は出発地(スタート)、Z 地点は目的地(ゴール)、B、C、D 地点は途中経過地(手段、目標、マイル・ストーン、一里塚)となります。



Q : それではお聞きします。勉強の目的は何ですか。受験勉強の目的は何ですか。何のために勉強をするのですか。何のために受験勉強をするのですか。教えてください。

A : (1) オー、ズバツと来ましたね。これは、皆様自身の問題なので是非ご自分でお考えください。
(2) ただ、せっかくのご質問なので、参考までに私の考えをお話します。このような考えもあるのだなど、参考までにお読みください。そして、最後はご自分の力でお考えください。
(3) 勉強の目的、特に受験勉強の目的を考えることは、素晴らしいことだと思います。
(4) 同じものごとを行うにも、何の目的も持たずに行う場合と、うすぼんやりしているけれども、ある程度目的を持って行う場合と、はっきりとした目的を持って行う場合とでは、目的地(ゴール)に到達できる確率が全く異なるからです。

Q : それはどういうことですか。

A : (1) 例えば、船が港を出て出航する場合、目的地を全く定めずに航行する場合と、ある程度目的地を定めて進む場合と、明確に目的地(ゴール)を定めて航海する場合とでは、行き先が全く異なります。
(2) ですから、「勉強」、特にこれからの人生を懸けて臨む「受験勉強」を行うときには、明確な目的を持った上で、その「目的」の達成のためには何をどのようにしたらよいかという「手段」「目標」「マイル・ストーン」「一里塚」をお考えになるとよいと思います。
(3) 「目的」が明確であればあるほど、未来は開けます。

Q：どのような目的を持って勉強、特に受験勉強をしたらよいとお考えですか。

A：どのような人生を送りたいかをよく考え、「人生の目的」をはっきりとお持ちになって勉強、特に受験勉強をすると、素晴らしい結果が出せると確信します。

Q：エッ、人生の目的ですか。

A：(1)はい、その通りです。受験勉強を行っている皆様はもうすぐ学校を卒業なさるので、「どのような人生を送りたいのか」「何のために生きるのか」などと自分の生き方をよくお考えになり、「人生の目的」をはっきりとお決めになることをお勧めします。

(2)例えば、「人としてよく生きる」「自分やみんなのために生きる」「仕事や様々な活動を通して社会の役に立つ」などは、素晴らしい「人生の目的」であると考えます。

(3)そのような「人生の目的」を達成するために、「〇〇という学校で勉強する」「〇〇という学校に進学するために、受験勉強をする」「受験勉強の大切な手段として模擬試験を受ける」「学校の定期試験を受ける」「学校や開倫塾での勉強に励む」など、目の前の一つ一つの様々な取り組みを行うことを私はお勧めします。

Q：第一志望校合格が、その一つとって思っていたが・・・。

A：(1)第一志望校合格は、「人生の目的」を達成するための「手段」であると考えます。

(2)そうでないと、受験が終わって第一志望校合格を果たしたときに、「目的」が達せられたこととなります。そのため、「目的」を喪失し、新たな「目的」が見つかるまで何となくブラブラしてしまいます。

(3)多くの高校生や大学生が大変な思いで受験勉強をして志望校に入学を果たしても、目的がないために何となく時間を過ごしているのは、このためです。

(4)皆様には、合格が決まった瞬間から、「人生の目的」達成のために具体的な取り組みを始めていただきたいと希望します。

Q：最後に一言どうぞ。

A：皆様の大切な「人生の目的」を達成するために、是非行っていただきたいことが三つあります。

(1)これぞという本を、腰を落ち着けて一語一語噛みしめるようにしっかりと「精読」し、作者との「時空を超えた対話」をすることです。

(2)英字新聞を含む複数の新聞を毎日一面から読み、世の中ではどのようなことが現在起こり、これから起こりつつあるかを自分の力で考えることです。

(3)日本国内だけでなく、広く世界に出掛け、目をカッと開いていろいろなものを見、多くの人々と言葉を交わし、世界のために自分がなすべきことを一つでもよいから考えることです。

「自己責任」「自助努力」「自分の未来は自分で切り開く」、どうかがんばってください。

2017年10月16日記

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授)